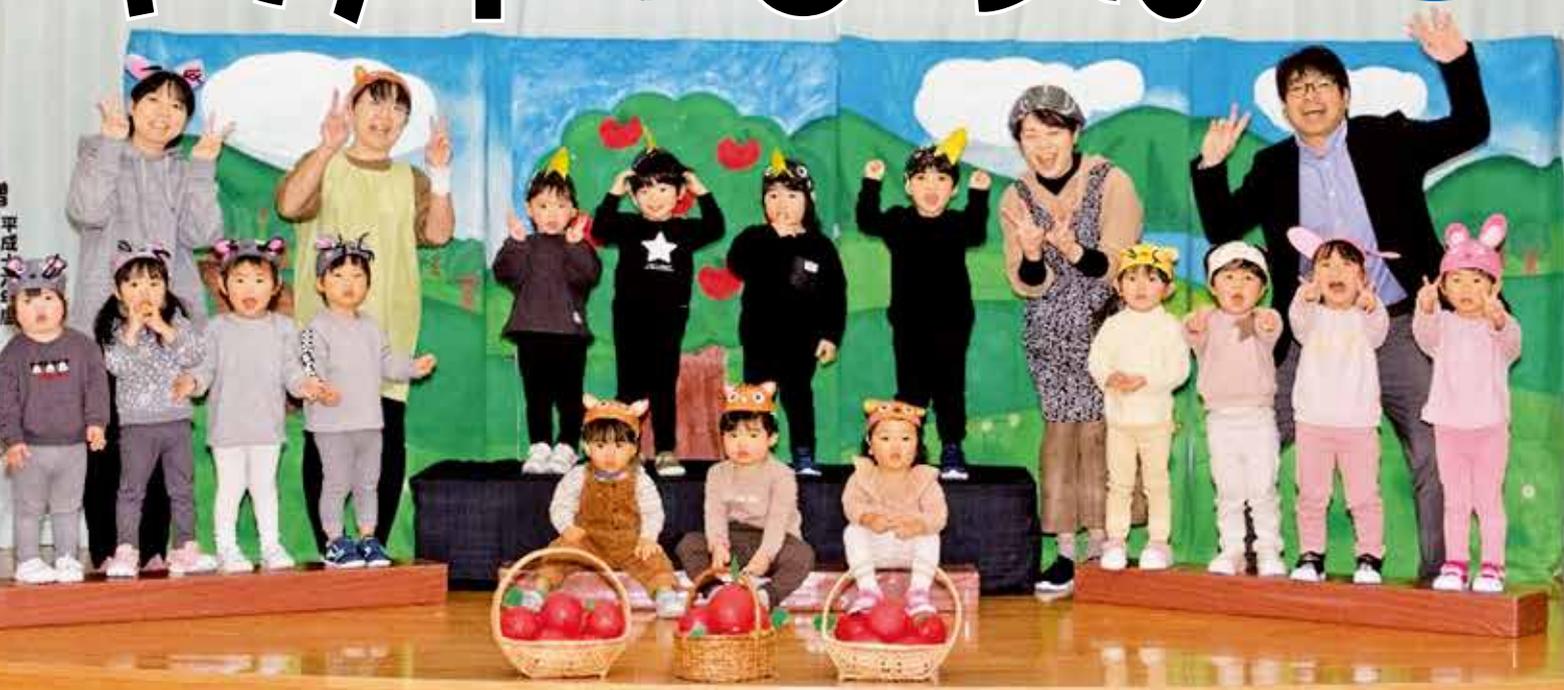


はちまんたい議会だより

ギカイのひろば

No. 74
2024年(令和6年)
1月25日



クリスマス発表会



クリスマス発表会

主な内容

- 議員と語る会…………… P 2
- 12月定例会…………… P 5
- 一般質問(9人)…………… P 7



議員が4会場に分かれて参加者と意見交換を行いました
田山コミュニティセンター(11月18日)

市への提言に向け 市民と議員が対話

議員と語る会

八幡平市議会は令和5年11月18日と25日、12月2日の3日間、議会報告会「議員と語る会」を開催しました。議員が1班と2班に分かれて市内4会場で実施。合わせて64人の市民の方からご参加をいただきました。議員が令和5年第3回定例会などの議会報告をしたほか、「八幡平市に提言・提案したいこと」をテーマに、全会場でワークショップ形式による意見交換を行いました。(掲載は主なもの)

1 班

● 11月18日 ●

田山コミュニティセンター

■ 参加者 12人

- ▼ 頻繁に出没するクマやイノシシなどによる農作物への被害は深刻である。早急な対応と併せて獣が寄り付かないように道路付近の草刈りをするなどの安全対策を強化してほしい。
- ▼ 田山地区は、耕作放棄地と空き家が目立っているため、対策を強化するべきである。
- ▼ コミュニティバスの増便とJA安代支所や安代総合支所にも立ち寄れるように利便性を考えた運行を検討してほしい。
- ▼ 田山スキー場のリフト左側のエリアを有効に活用してほしい。
- ▼ 田山体育館は、国民体育大会に向け屋根の一部の応急処置を行ったが、屋根全体の腐食が激しく全体の修繕が不可欠である。
- ▼ 旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場の解体を撤回してほしい。
- ▼ 流雪溝が開閉しづらくなっているため、対策を取ってほしい。

2 班

● 11月25日 ●

大更コミュニティセンター

■ 参加者 33人



多くの市民の皆さんが参加

- ▼ 自治会の事業に市役所職員も積極的に関与すべきである。そうすることで地域の課題や問題も見えてくる。また、「議員と語る会」のような「市民と市職員が語る会」が必要である。
- ▼ ごみの分別をしっかりと行い、ごみ収集場所に出すことを周知徹底してほしい。また、ごみ収集場所の建物が老朽化した場合に自治会で修繕することが困難になってきているため、補助金を増やしてほしい。
- ▼ 図書館は現状のままでもよい。大更駅前への図書館移転は再度検討するべきである。
- ▼ クマの被害は人的、経済的にも甚大である。駆除を積極的に推進すべきである。
- ▼ 学校の統廃合などで市の取り壊し物件が増えることから、企業に格安での賃貸や介護施設としての活用を検討してほしい。
- ▼ 農業支援策として中小規模の農家(認定農業者、担い手以外)への補助金も検討するべきである。また、後継者不足の解消を積極的に取り組んでほしい。

- ▼ 道路の雪解けが始まると道路にでこぼこができ、車が通るたびに騒音と振動が激しく、夜に眠れないほどである。早急に修繕するなどの対策をしてほしい。
- ▼ 女性が活躍できるようなまちづくりのため、人材育成など市全体で取り組んでほしい。
- ▼ 田山地区の貴重な歴史・文化を守り、その価値を周知するために活動の支援を望む。
- ▼ 歩道の除雪が遅いため、通勤時に車道を歩く際に危険である。除雪をもっと充実してほしい。
- ▼ 今回の議員と語る会で話し合った内容を一つでも実現できるように議員活動をしてほしい。



前向きに意見を出し合う様子

- ▼ 大更駅前線土地区画整理事業の土壤改良業務について、土壤汚染の現状はどうなっているのか、今後どのような影響があるのか、地域住民への詳細な説明が必要である。
- ▼ 市内の公園などに遊具がないので、子育て支援の充実を図るため、各公園などに安全な遊具を設置するよう検討してほしい。
- ▼ 若者が働ける場所が少ないので、大企業の誘致を望む。

- ▼ 大更駅前線土地区画整理事業の土壤改良業務について、土壤汚染の現状はどうなっているのか、今後どのような影響があるのか、地域住民への詳細な説明が必要である。
- ▼ 市内の公園などに遊具がないので、子育て支援の充実を図るため、各公園などに安全な遊具を設置するよう検討してほしい。
- ▼ 若者が働ける場所が少ないので、大企業の誘致を望む。



女性視点での発表もありました

物価高騰対応重点支援給付金を含む補正予算可決

今回は
市長提出議案 10件
議員提出議案 1件



12月定例会議案採決(議案第4号)

**農業委員の任命
全会一致で同意**

農業委員会の委員に欠員が生じたため、新たに竹田憲治氏を委員に任命しようとするものです。

【議案第4号】八幡平市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

**5億7028万円
増額補正予算可決**

歳入、歳出それぞれ5億7028万円を増額し、総額197億8609万6千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼生活困窮者冬季特別対策事業助成金 2240万円
- ▼物価高騰対応重点支援給付金給付費 2億1700万円
- ▼債務負担行為補正
都市計画道路大更駅前線沿道用地土壌改良業務(6年度) 1515万円(追加)

**会計年度任用職員に
勤勉手当を支給**

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、勤勉手当を支給しようとするものです。

Q 会計年度任用職員の給与が一般職員と同様に4月1日から適及適用されていないのはなぜか。

A 会計年度任用職員に関しては、出入りも多く、年度内に任用になる場合や退職する場合もある。事務手続きを勘案して適及適用はしていない。

**5億7028万円
増額補正予算可決**

なぜ早々に都市計画道路大更駅前線沿道用地土壌改良業務の債務負担行為が必要になったのか。

Q 令和3年度、4年度も債務負担行為を行っている。6年度も継続して処理が必要なことから債務負担行為を行うものである。

A 令和3年度、4年度も債務負担行為を行っている。6年度も継続して処理が必要なことから債務負担行為を行うものである。

1 班

● 11月25日 ●

田頭コミュニティセンター

参加者 9人



議会報告会をしている様子

- ▼市民に直接関係する事業については早めに住民説明会を開催し、意見を聞き取ってもらいたい。
- ▼県道焼走り線の道路整備が必要である。特に歩道部分の雑草や落ち葉などを処理してほしい。
- ▼令和5年度は肥料高騰対策支援があったが、令和6年度も継続して支援をしてほしい。
- ▼クマの対策として、マタギを増やしてほしい。
- ▼学校給食を無償化してほしい。

2 班

● 12月2日 ●

寺田コミュニティセンター

参加者 10人



厳しいご意見もいただきました

- ▼議会だよりの一般質問の内容は、広報用にまとめないで全部掲載してほしい。
- ▼運転免許証の返納者へ手厚い支援が必要である。
- ▼コミバスの運行について、高齢者の公共交通機関利用への利便性を高めてほしい。
- ▼市外の特別支援学校への通学の支援をしてもらいたい。
- ▼市道山子沢線の整備、田山スキー場の整備など、行財政の見直しを図ってほしい。
- ▼通勤、通学の時間に合わせた除雪してほしい。
- ▼ごみの減量化に取り組んでもらいたい。

- ▼大更駅前線土地区画整理事業の土壌汚染は人体・環境にどのような影響があるのかしっかりと市民に説明してほしい。
- ▼コミバスの停留所まで距離があり、高齢者にとっては不便である。また、大型バスではなく、小型または中型の車両にし、もつときめ細かい運行をするべきである。行政手続き、買い物、通院などに移動手段がない市民の利便性を確保するべきである。

- ▼若い人も参加してくれました
- ▼市内にはスポーツに特化した施設がないので、市総合運動公園を改修して、公式陸上競技ができて、中央部分は天然芝でサッカーやラグビーなどができる施設にしてほしい。
- ▼少子高齢化が進む中、建設費約20億円を投じて、(仮称)大更駅前通りづくり施設に新しい図書館はいい。建物造っても維持管理費などが増えるだけである。既存の公共施設を有効活用するべきである。
- ▼ごみの分別を周知徹底し、生ごみを少なくし、ごみの焼却費を抑え、環境にもやさしくするべきである。

一般質問

質問した事項

勝又 安正 議員（八起会）……………07

- ・打田内川の河道掘削について
- ・限界集落対策について
- ・戦没者追悼式について

関 治人 議員（八起会）……………08

- ・観光振興について
- ・田山スポーツエリアの整備について

渡辺 義光 議員（市民クラブ）……………08

- ・合併20周年記念事業の取り組みとまちづくりについて

高橋 悦郎 議員（日本共産党）……………09

- ・八幡平市環境基本計画について
- ・八幡平市公共施設等総合管理計画について

齊藤 隆雄 議員（日本共産党）……………10

- ・介護保険について

工藤 多弘 議員（松西会）……………10

- ・（仮称）大更駅前顔づくり施設および大更駅周辺開発について
- ・共に学び、共に育つ教育について

熊澤 博 議員（自由クラブ）……………11

- ・建設業の振興対策について
- ・介護保険の在り方について

田村 正元 議員（八起会）……………12

- ・赤川について
- ・子育て、学校教育について
- ・観光振興対策と今後の振興計画について

北口 功 議員（無会派）……………12

- ・移住定住問題について
- ・認知症対策について
- ・HPVワクチンおよび带状疱疹ワクチン接種について



かつまたやすまさ
勝又安正 議員
(八起会)



打田内川（曲田）河道掘削

河川上流端から実施予定



曲田地区の一級河川打田内川

問 岩手土木センターへ早期に取り組みを働きかけていると思うが、水害の危険が増しており、地域住民から強い要望がある。打田内川の河道掘削の計画を伺う。
市長 県では本年度、下流に向け掘削予定であるが、予算配分の調整が必要であ

り、全線実施には複数年要することである。災害の未然防止のため、継続実施を要望していく。
限界集落支援対策
問 山間部の状況と地域活動の現状について伺う。
市長 65歳以上の高齢化率

は42・2%であり、年々進んでいる。自治会活動費補助金の支援、各地域振興協議会に地域づくり一括交付金を交付し、地域課題の解決など共助によるまちづくり事業を進めている。
問 移動販売車などの配送事業へ支援の考えは。

市長 移動販売車の需要など地域の方々からお聞きすることから取り組む。
問 買い物弱者、交通弱者が増える中での対策は。
市長 公共交通の確保が大切な地域交通ネットワークの構築を目指していく。

市戦没者追悼式は参加できる式典へ
問 参加者が減少傾向にある中での対応策を伺う。
市長 参加しやすい式典となるように時期や曜日を見直し、平和学習も調査研究していく。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



除染作業が続く元クリーニング工場跡地

Q 保健所にもっと強く働きかけ、国や県の助成を交渉するべきではないか。
A 保健所からは、汚染物質が基準値以下に下がるまで、継続するよう指導を受けている。民間や個人の場合、保健所の指導があっても対応することは難しいが、土地所有者が市である限り対応する必要がある。
Q これから10年先まで、毎年1500万円をこの土地に払っていくことになるが、行政機関として責任がある。除染作業の結果、汚染物質は減少してきており、そのことも含めて保健所と協議していきたい。

パレスチナ紛争の休戦を求める決議

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの大規模衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区において、人命が深刻な危機的状況にさらされているとともに、市街地に甚大な被害がもたらされている現状である。八幡平市議会は、この紛争に関わる全ての当事者および国際社会に対し、「即時かつ持続的な人道的休戦及び人質の即時解放」「国際法及び国際人道法の順守」「人道的被害の抑制、人道支援物資の供給を通じた人道状況の改善」を強く求め、一刻も早く紛争が終結することを切に望む決議を議決しました。

Q 物価高騰対応重点支援給付金給付費として2億1700万円が計上されているが、支給日は年明けの1月中旬という解釈でいいの。
A 対象者には、12月下旬に確認書を送付し、支給は1月中旬から下旬と考えている。
【発議案第1号】パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議について

令和5年第4回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果																				議決結果
議案名	議員名 (会派名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果
		外山 一則(八起会)	田村 正元(八起会)	齊藤 隆雄(日本共産党)	関 治人(八起会)	羽沢 寿隆(八起会)	工藤 多弘(松西会)	勝又 安正(八起会)	北口 功(無会派)	欠 番	熊澤 博(自由クラブ)	立花 安文(八起会)	渡辺 義光(市民クラブ)	工藤 直道(自由クラブ)	古川 津好(松西会)	高橋 悦郎(日本共産党)	高橋 光幸(市民クラブ)	井上 辰男(八起会)	工藤 隆一(八起会)	
八幡平市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※賛成=○、反対=● 工藤隆一議長は採決に加わりません



せき ひろと 議員

(八起会)



田山スポーツエリア整備 地域のニーズに合わせて



利活用が求められる田山スキー場

問 田山スキー場の今後の整備計画は。
市長 地域振興協議会を中心に地域の方や利用者のニーズを踏まえて検討する。

技 スキーのニーズが高いスキー場である。完全クロージングの専用バーンとして利用を促進するべきでは。
市長 競技者が多いのは承知している。利用者のニーズに合ったものになりたい。

問 ジャンプ台を有効活用するためには、ランディングに人工芝を張り付け、夏場も使用可能にすることやアクセス道路の整備が必要である。また、今後安定した運営をしていくためにも県営化は必須だと思っが。
市長 県営化については今までも要請している。大会開催を機に県営化の議論を進めていきたい。

新 体制のDMO
今 後の在り方は
問 委託料5年間の総額は、
市長 5年間の総額は、約3億6880万円である。
問 5年間の評価は。
市長 さまざまな観光事業

を行っているほか、国から約8億円の投資を呼び込むなど一定の評価をしている。
問 5年間の総額を考えた上で新しい体制への対応を考えるべきでは。
市長 継続して進めるべき事業は多いが、在り方についてしっかり考えて進める。



わたなべ よしみつ 議員

(市民クラブ)



合併20周年事業の計画は 記念行事の全般を検討中



合併協定調印式（記録集より）

問 令和7年9月1日に八幡平市合併20周年を迎える。合併の効果を正しく検証し将来へのまちづくりを展望する記念事業の取り組みは。
市長 庁内にプロジェクトチームを設置し、式典・行事・記念誌刊行の在り方などを総合的に検討中である。

3 町村章を紛失？
問 旧3町村の庁舎屋上に設置されていた「町村章」は長年の風雪に耐え、まちの歴史を物語る文化財である。永久保存すべきである。
市長 提言のあった町村章（縦・横、約140センチ、厚

さ10センチ）を市の全施設で捜索し、退職者を含め全職員に情報を求めたが発見できなかった。市の管理体制の不徹底から貴重な財産を紛失したことをお詫びする。
4 千万円の寄付金
問 元八幡平市ふるさと会

会長故・工藤修氏（大更仲町出身）の遺族から寄付された4千11万円の活用と顕彰事業をどう考えているか。
市長 遺族の方から「市の発展に活用してほしい」との申し出があった。市有財産整備基金に積み立て、趣意に添うよう有効活用する。

未 来を担う子ども
問 小中高生を対象に市の将来の夢や未来をテーマにした詩、絵画、作文、プログラミングを公募しては。
教育長 子どもたちが20周年を機に将来に大きな希望を抱ける取り組みにしたい。



たかはし えつろう 議員

(日本共産党)



ごみ資源化率の引き上げ 市民の理解と協力が必要



集積場に出されたごみ

問 本市のごみ処理経費は、年間約5億円かかっているが、その財源は。
市民課長 事業系ごみ手数料を除き、一般財源である。貴重な一般財源からの支出であり、ごみ処理経費の削減は大きな課題である。県内市町村の1人1日当た

りのごみの総排出量を見ると、本市は矢巾町に次いで2番目に多い。また、ごみのリサイクル率も県内の市町村の中で下から3番目というところで進んでいないが。
市長 雑紙の分別を実施しているが、市民の方々に浸透できていない。また、プ

ラスチックごみの分別はすぐに実施しなければならぬが、新たな施設が必要で、実施のタイミングを図っている。生ごみの分別については、他のごみに比べハードルが高い。時間がかかるが実施に向けて進めていく。ごみのリサイクル率を引き

上げ、ごみを削減するのはそのとおりである。そのためには市民の皆さんにご理解いただき、協力いただくことがなにより大切である。
廃 止した公共施設
問 本市には、廃止になっ

た公共施設が20力所あるが、取り壊しはどうか進めるのか。
総務課長 今、取り壊しの優先度合いを検討している。
問 県は、廃止になった公共施設の公売を積極的に進めている。本市の方針は。
建設課長 不要な資産については、できるだけ公売にかけ、処分したい。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



齊藤隆雄 議員



保険料の引き上げ抑制を

国の方針後に結論を得る



介護保険制度を紹介する冊子

問 令和6年度からの第9期介護保険事業計画では、65歳以上の保険料改定をどのように想定しているのか。
市長 介護保険制度の持続可能性を確保するためには、低所得者の保険料上昇を抑える必要がある。能力に応じた負担の観点から、既に

多段階の保険料設定であることを踏まえると国の定める標準段階の多段階化や標準乗率の高所得者の引き上げ低所得者の引き下げなどを検討しており、年末までに結論を得るとされている。
問 国や県と比較して保険料が高くなっている要因は

市長 令和4年10月1日時点の高齢化率を見ると国29%、県34・8%に比べ、組合管内は43・4%と高くなっている。また、要介護認定率は本年4月末で20・5%と県内24の保険組合中5番目である。さらに全国1571保険組合中327

番目と高くなっている。介護サービスを利用される方が比較的に多い状況にある。第1号被保険者1人当たりの給付費を比較すると全国は1万865円、県は1万2396円、組合は1万6306円と国や県を大きく上回る状況が要因と考える。

問 厚労省の介護利用料2割負担の対象を広げる試案についての見解を伺う。
市長 持続可能な制度の確立、負担の公平性に配慮し、高齢者の方々が必要なサービスを受け、安心して生活できることが望ましい。国の動向を注視していく。



工藤多弘 議員



図書館運営に市民の声を

市民が来館しやすい場所



現在の市立図書館

問 市民の声を参考に現市立図書館をリニューアルし、充実した図書館運営を進めることができるかと考えるか。
教育長 現図書館は築32年が経過し、長寿命化対策と合わせた工事を実施しても新築のような耐用年数と変わらないものと認識している。

また、交通手段を持たない子どもたちを含め市民の皆さんが来館しやすい場所が効果的であると考えている。
問 (仮称)大更駅前顔づくり施設予定地の地盤調査は、建設課長 数力所の地質調査を行ったものに基づき地質の状況、土質などを調べ

て設計を行っている。
問 10月に開催した「はちマルシエ2023」イベントの今後の展開は。
商工観光課長 イベントの開催回数は、今回の結果を踏まえて整理していく。また、次回はさらに広く周知し、皆さんに情報が届くよ

う改善を図りたい。
共に学び共に育つ
問 特別支援学校八幡平分教室設置の進捗状況は。
教育長 本年度を含め過去3年間、保護者のニーズを把握し、県教委に直接出向き設置を要望している。

問 分教室の設置場所は。
教育長 当初は、旧東大更小学校の校舎を視野に入れていたが、分教室は地域の児童生徒との交流が大きなポイントとなる旨の話もあり、市内の小学校の空き教室に設置することを含め、検討している。



熊澤ひろし 議員



建設業の果たす役割とは

地域の安全・安心の担保



インフラの整備・維持は除雪から

問 市建設協同組合への発注は優先されているのか。
市長 組合は安全・パトロールや各種奉仕活動などの地域活動、公共的活動に取り組んでいる。建設工事の発注は原則として競争入札である。市内事業者を基本的な入札参加資格者としてい

る。優先的に実行され、おおよそは市内発注であると理解している。
問 競争入札で不落となった場合、最低価格入札者と市との協議の考えは。
市長 3回までの入札で不落の場合、再度入札すべきか、随意契約とするかを検

討し進めている。
問 入札参加者が1者の場合でも入札を行い、落札し発注している自治体や団体もあるようだが。
総務課長 国も含めて1者でも入札する自治体もある。県内でも対応は分かれており、今後検討していきたい。

潜在的な介護難民
問 市内には、少ない年金生活で施設入所を諦めた介護難民も存在するのでは。
健康福祉課長 3地区の相談窓口や地域包括支援センターでの周知、民生委員からの情報提供などで、対応

を検討していきたい。
問 介護職員の給与を引き上げるため、国へ報酬の引き上げを求めるべきでは。
市長 全国市長会議の決議で、賃金水準の底上げを国へ提言したところである。利用者負担や保険料の動向にも注視していく。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



たむらまさもと
田村正元 議員

(八起会)



集中豪雨を見越した対策

国土強靱化計画で実施

きょうしん



地域の皆さまの協力で維持管理

問 赤川河川内および堤防敷にある成長した樹木について、八幡平市国土強靱化地域計画も含め、今後どのように対応していくのか。

いきたい。そのためにも市民の皆さんの情報提供もいただきながら、優先順位の高い重点エリアから早期に改善を図っていききたい。

名称の決定はどう考えているのか。また、子育て支援サイトで遊具や幼児エリア、図書館の内容などについて情報の開示計画は。

も含め広く募集する方向で検討している。現状、開示計画は立てていない。今後の展開については、広く内容が伝わるように見直しをし、進めていきたい。

の補助を受けたノーザングランデ八幡平が2年目で休業している。行政として今後どう働きかけていくのか。

大更顔づくり施設

問 オープン日は、具体的にいつを予定しているのか。

商工観光課長 オープンについては、2025年秋以降を予定している。名称についてはネーミングライツ

観光振興の状況は

問 泊食分離をテーマに国



きたぐち
北口 議員

(無会派)



移住定住へのサポートは ウェブサイトで情報提供



市ホームページのトップ画面

問 移住を考えた、新たに定住しようとしている人や暮らし始めている方々に対するサポートはあるのか。

情報も必要ではないか。

認知症の治療は 早期発見がカギ

問 当市における認知症の対策と取り組み状況は。

支え合い強化のため認知症講演会や認知症サポーター養成講座、認知症カフェを開催している。また、医療や介護の支援へと結びつける事業などを行っている。

勧奨の期限が迫る

問 積極的勧奨が再開さ

れたHPV(子宮頸がん)ワクチンの接種対象者数と接種率は。

問 国立がん研究センターの推計では、1万人当たり132人が罹患し、そのうち34人が亡くなる。市に換算した場合は、市に接種対象者では、

主な議会の動き

(10月1日～12月31日)

10月

- ▶ 2日 令和5年第3回定例会、議員研修報告会(議会運営委員会)、議会運営委員会
- ▶ 10日 議会広聴広報常任委員会
- ▶ 17日 産業民生常任委員会所管事務に係る視察調査、市議会議員と建設協同組合役員との意見交換会
- ▶ 20日 平館高校同窓会役員等との意見交換会
- ▶ 24日 盛岡地区広域消防組合議会10月定例会
- ▶ 25日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会監査、盛岡広域環境組合議会監査
- ▶ 26日 議会広聴広報常任委員会
- ▶ 31日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会10月臨時会

11月

- ▶ 1日 令和5年盛岡北部行政事務組合議会第2回定例会
- ▶ 6日 盛岡地区広域消防組合議会議員消防行政視察研修(～8日)、議会広聴広報常任委員会視察研修(～8日)
- ▶ 10日 議会改革推進会議議員研修会(ワークショップ)
- ▶ 14日 会派視察研修(八起会、市民クラブ、無会派)(～16日)
- ▶ 17日 令和5年盛岡広域環境組合議会11月定例会
- ▶ 18日 令和5年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」
- ▶ 21日 岩手県市議会議長会議員研修会、宮古市・八幡平市議会議員合同研修会及び交流会(～22日)
- ▶ 25日 令和5年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」
- ▶ 27日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会
- ▶ 29日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会監査、盛岡広域環境組合議会監査
- ▶ 30日 議会運営委員会、令和5年第2回臨時会、議員全員協議会

12月

- ▶ 2日 令和5年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」
- ▶ 6日 令和5年度第3回タブレット型端末操作研修会
- ▶ 7日 令和5年第4回定例会(～13日)、議会広聴広報常任委員会
- ▶ 12日 議会運営委員会
- ▶ 13日 議会運営委員会
- ▶ 20日 盛岡地区広域消防組合議会12月臨時会
- ▶ 21日 議会広聴広報常任委員会
- ▶ 26日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会監査、盛岡広域環境組合議会監査

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



土壌改良業務の現場

大更駅前線沿道の土壌改良業務

平成28年度に市が取得したクリーニング工場跡地から基準値を超える揮発性有機化合物「テトラクロロエチレン」が検出された。県の指導により検査した結果、井戸水からは有害物質は検出されなかったが、有害物質の拡散の防止および土壌浄化が必要となった。県から区域の指定と処置対策の指示があり、令和元年度から土壌の浄化処理を行っている。当初基準値の680倍だったテトラクロロエチレンが5年8月の調査では69倍まで低下しているが、未だに基準超過の状況となっているため、6年度以降も継続して浄化処理が必要との説明があった。

委員会活動報告

産業民生常任委員会

- 期日 令和5年10月17日
- 場所 地域活動支援センター松の実、たかさホーム、放課後等デイサービスきらきら星
- 内容 障がい福祉サービスの現状について



地域活動支援センター松の実

市内の障がい者施設を視察

NPO法人まつぼっくりが運営する通所施設の「地域活動支援センター松の実」とグループホームの「たかさホーム」は、障がいがある人も社会の一員として地域の中で共生できる環境づくりを目指し、障がい者が自立した生活を送ることができるように支援していた。「放課後等デイサービスきらきら星」では、通学時間が長い、指導員の不足、定員満員などの現状説明と市からのバス運行や支援学校の分校の設置などの要望があった。

議会広聴広報常任委員会

- 期日 令和5年11月6日～8日
- 場所 大阪府八尾市、和歌山県和歌山市
- 内容 議会広聴広報に関する先進地調査

議会広報の先進地を視察

八尾市議会では、市民へ「つたわる」に重点を置き、点字や音声を使った全市民への情報伝達、地元の大学生と協力しながら、若者世代へ議会への関心を高めていた。和歌山市議会では、あらゆる情報コンテンツを使い、どの世代からも議会に興味をもてる「きっかけ」づくりに重点を置き、若い時から議会や行政に興味や関心を持てるように工夫していた。今後は、「ギカイのひろば」を含め、改革・改善をしていきたい。



大阪府八尾市の議場で

八幡平市議会活動レポート

会派視察研修



袋井市中部学校給食センターでの視察風景

静岡県袋井市を訪問

(八起会・市民クラブ・無会派)

袋井市は、市制施行35周年記念式典で「日本一健康文化都市」を宣言した。まちづくりの基本は、食事であることを認識し、農業関係者と連携しながら、学校給食に地元産の野菜を取り入れるなどして、食生活の向上と食育活動に努めている。また、教育委員会にはユニークな「おいしい給食課」が設置されていた。

次は 3月定例会 (予定) ※日程は変更になる場合があります。

期 日	内 容
2月20日(火)	市長施政方針演述 ほか
2月21日(水) ～ 3月4日(月)	休会
3月5日(火) ～ 3月8日(金)	一般質問
3月9日(土)・10日(日)	休会
3月11日(月) ～ 3月15日(金)	議案審議、 予算特別委員会
3月16日(土) ～ 3月18日(月)	休会
3月19日(火)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。
開催時刻は一部を除き午前10時から（終了時間は日によって異なります）です。詳しくは、八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット(YouTubeの八幡平市議会のチャンネル)で録画配信しています。
令和5年12月定例会の視聴回数は844回です。
9月定例会の視聴回数は2,192回でした。
(令和6年1月10日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう？

八幡平市議会定例会は、年○回開催されます。

- 応募方法 答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)。
※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX: 0195-74-2105 E-mail: gikai@city.hachimantai.lg.jp
- 締め切り 令和6年3月1日(金)(当日消印有効)
- 前回(No.73)の正解 提案
応募者 22人 正解者 21人



議会のまど

未来のまちづくりのために



つかけ ゆうか
角掛 悠夏 さん
(高宮)

普段手に届かない、目にしないものに興味を抱くことは誰しもあります。八幡平市は、辺りを見渡せば、四季折々の大自然が広がっていて、自然があふれるすてきなまちです。しかし、心のどこかに都会への憧れもあり、やがて目移りする方もいます。自分の周りでも都会へ行く人は少なくありません。八幡平市に残るのはもちろん、やっぱり地元が一番と戻ってきてもらえるようなまちになると良いです。多くの方々が若者の過ごしやすい環境を作っています。私もそれに応える気持ちで共にまちづくりに携わっていきたいです。

字

が大きく読みやすいです。農繁期も終わりゆくり読めるのが楽しみです。(向久保・81歳女性)

今

年は熊の犠牲者が多いです。保護を訴えることも分かりますが、対策にしっかり取り組むべきではないでしょうか。(両沼・65歳男性)

新

しい図書館を造るより、学童で使う遊具を購入した方が良いと思います。(渋川・35歳女性)

東

大更学童の利用は不便です。元J.Aの建物にすれば、有効利用できると思います。(駅前一区・44歳女性)

畜

産飼料高騰対策支援は良いことだと思えます。わが家では、食べることで応援します。(松川・56歳女性)

大

更顔づくり施設を楽しみにしている方、あまり期待していない方がいると思います。今の予算内でお願います。(上寄木・70歳女性)

回

答が「検討」とか「対策を考える」では市民としては不安です。道筋を示してください。(両沼・63歳女性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

家

族の病気で働けず、厳しい生活です。障がい者や低収入の人に優しい政治を期待します。(野口・58歳女性)

◆ 編集後記 ◆

議会広聴広報常任委員会の先進地視察や議員と語る会でいただいたご意見などを踏まえ、委員会ではどのようにすれば限られた誌面で「伝える広報」から「伝わる広報」にできるかを話し合い、その第一歩として「編集後記」を作成することとしました。限られたスペースですが、今後も委員会で話し合った内容などをお伝えしていきたいと思っております。

委員長 工藤多弘



あしろこども園
保護者会会長

あべ ひろみつ
阿部 博満 さん

保育園紹介

あしろこども園は、年々園児の数が減少していますが、先生や保護者が一丸となり園を盛り上げています。また、地域の方々のご協力もあり、子どもたちは園の行事など、楽しみながら明るく元気にすくすく成長しています。